

## 平成25年度 三重大学高大連携公開講座

**講義の主旨：**理系・文系を問わず、この地域の高校生の関心の高い教育研究分野を対象として、三重大学の諸先生のご指導を得て、当該教育研究分野への理解を高めるとともに、三重大学への進学希望者を増やす。

**日 程：**6月15日（土）～8月6日（火）の午後の合計8回

**講義日程：**以下の通り

※ 尾鷲高校 13時30分～16時40分      木本高校 13時10分～16時20分

【第1回】日時：6月15日（土）      会場：尾鷲高校      講師：島岡 要（医学部）

**【講座①】「臨床医学者への道：A Roadmap to Physician-Scientists」**

【内容】2007年のEuropean Heart JournalにDr. Archerが書いているように、臨床医学者としての道を歩むことは、医学の分野でもっともやりがいのある仕事である。臨床医学者がやっていることは、トランスレーショナルリサーチ（医学の基礎的な研究成果を臨床の場へと効果的に応用していく研究）への橋渡し役のようなものである。臨床と研究の両方に脚を突っ込んでいるからだ。患者に対する医療の質を高め、有能な医療従事者を育て、ひいては最先端の医療科学技術の発展に貢献する臨床医学者の仕事を紹介する。

【第2回】日時：7月6日（土）      会場：木本高校      講師：塚本 明（人文学部）

**【講座②】「江戸時代の旅文化と熊野古道」**

【内容】江戸時代には伊勢参宮の後、西国巡礼を志した人びとが熊野街道を辿りました。熊野地方には、全国からの旅人と、彼らを迎えた街道沿いの村人との交流を示す古文書が豊富に遺されています。それらを読み解きながら、当時の旅文化と村社会の様相を紹介します。

【第3回】日時：7月20日（土）      会場：尾鷲高校      講師：山中 章（人文学部）

**【講座③】「古代紀伊国と伊勢湾・熊野灘」**

【内容】東紀州一帯は古代には紀伊国牟婁郡に属していました。海と縁の深い郡で、贄と呼ばれる天皇の食事に供される鯛を専門に採っていました。西部の白浜郷には「牟婁湯」として早くから朝廷にも知られる名湯がありました。海の幸と温泉。熊野灘一帯の人々の暮らしを探ってみます。

【第4回】日時：7月27日（土）      会場：木本高校      講師：安食 和宏（人文学部）

**【講座④】「過疎問題と地域の活性化」**

【内容】日本の農山漁村地域で「過疎」問題がどのように生じて、どのように変わってきたのかを学習します。その中で、東紀州地域の位置づけを理解します。また、近年各地でみられる地域活性化（まちづくり）の事例を学び、東紀州の活性化に向けた方向性を考えます。

【第5回】日時：7月31日(水) 会場：尾鷲高校 講師：金子 聡 (工学部)

【講座⑤】「化学とサステナビリティ」

【内容】21世紀は環境の世紀と呼ばれており、サステナブルな社会（持続可能な社会）の構築が重要なテーマの一つになってきている。したがって、本講義では、化学に関連するサステナビリティを指向した環境負荷低減化技術を紹介する。

【第6回】日時：8月1日(木) 会場：木本高校 講師：川口 淳 (工学部)

【講座⑥】「巨大地震・津波災害に備える」

【内容】阪神・淡路大震災や東日本大震災の教訓などをもとに、今後発生が危惧されている南海トラフを震源とする地震・津波災害に対してどのように備えるべきか考えます。

【第7回】日時：8月5日(月) 会場：尾鷲高校 講師：白石 泰三 (医学部)

【講座⑦】「DNAと生命科学、がんとは？ iPS細胞とは？」

【内容】生命医科学で扱う重要な分野に、「がん」および「再生医学」があります。まずDNAについて学び、それを基盤に、「がん」「iPS細胞」について基礎的な事項を理解し、臨床的な応用についても考えられるようにします。これらを通じ、医学への興味が深まることを期待しています。

【第8回】日時：8月6日(火) 会場：木本高校 講師：西村 顕 (工学部)

【講座⑧】「環境にクリーンな技術の研究開発の紹介」

【内容】地球温暖化の原因とされるCO<sub>2</sub>を排出しない発電技術である、燃料電池、風力発電、太陽光発電の研究開発の取り組みを紹介しします。また、併せてCO<sub>2</sub>を燃料（エネルギー源）に変換する光触媒の研究開発の紹介もします。